

Scopus(スコープス)中止に伴う

代替データベースの紹介

平成17年度から導入したエルゼビア社の科学文献データベース Scopus ですが、外国雑誌等全般の継続的な値上がりにも係わらず、厳しい財政状況から関連予算の増加が見込めず、図書館運営委員会での検討の結果、平成19年度から購入中止となりました。

利用者の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、Scopus に代わるものとして、Web 上で提供されている無料データベースや学術用検索エンジンをいくつか紹介しますので、Scopus 終了後の検索手段としてお役に立てていただければ幸いです。Web 上で公開されている無料データベースや検索エンジンは有料データベースに比べて収録源に偏りがあり、検索機能も限られ、また検索結果の精度や網羅性にも課題があるものが多いと言われています。しかし逆に有料データベースでは得られない文献がヒットする可能性もあります。また検索した結果、ScienceDirect など本学が購読中で利用可能な電子ジャーナルがヒットすれば、フルテキストがリンクから開ける場合があります。ただし検索結果のリンク先が異なると利用できないこともあるため、図書館HPの「弘前大学で利用できる電子ジャーナル」でも念のため確認してください。

Scirus(サイラス)

<http://www.scirus.com/srsapp/>

エルゼビア社で提供している科学分野に特化した検索エンジンです。科学関連の Web ページを検索の対象とします。ScienceDirect、IoP、Medline などから収録した抄録や千葉大学などの機関レポジトリ、USPTO(米国特許標庁)、EPO(欧州特許庁)の特許関連のデータも検索することができます。

CrossRef Search

http://www.iop.org/EJ/search_crossref その他

引用文献相互リンク CrossRef に加盟している45の出版社の電子ジャーナルを全文検索できます。次のURL(<http://www.crossref.org/crossrefsearch.html>)から参加出版社の一覧を見ることが出来ますが、いずれの出版社のサイトからも検索が可能です。最大手出版社のエルゼビア社は参加していません。

IngentaConnect

<http://www.ingentaconnect.com/>

イギリス Ingenta 社より提供されています。文献複写サービスが中心事業のため、2007 年 3 月現在、約 3 万の出版物の 2100 万件の記事等を収録しており、検索が無料で出来ます。Browse Publication (<http://www.ingentaconnect.com/content>) から収録誌を確認できます。本学が電子ジャーナルを Ingenta 経由で提供している場合はフルテキストが利用できます。

Google Scholar

<http://scholar.google.com/>

Google が提供する学術文献に特化した検索エンジンがベータ版として公開されています。日本語版も提供されています。学術情報をウェブ・クロールで収集する以外に提携している出版社や図書館、PubMed などから提供されたデータをデータベースに収録していますので、収録源や検索結果には偏りが出てきます。自然科学系分野とオープンアクセス論文への検索に比較的強いと言われています。無料データベースの中で唯一被引用回数が表示されることと被引用文献へのリンク機能があることが最大の特徴です。

PubMed

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez>

米国立医学図書館 (NLM) が作製している有料データベースの MEDLINE を中心に出版社提供の抄録・書誌事項、OLD MEDLINE (1950-1965)、MEDLINE 収録前や収録対象外のレコードを加えた無料公開版のデータベースです。医学・生命科学分野を中心に約 1,600 万件を収録しています。MEDLINE の検索機能が一部制限されているため、MEDLINE に比べると検索結果の精度に差が生じますが、検索結果からそのまま本学で利用可能な電子ジャーナルのフルテキストへリンクすることができます。また RSS 形式で最新情報を受け取ることもできます。

以上 4 点のデータベース、検索エンジンを紹介しました。その他、教育学分野では **ERIC** (<http://www.eric.ed.gov/>) や農学分野では **Agricola** (<http://agricola.nal.usda.gov/>) などがデータベースとして無料公開されています。また国内の論文を検索したい場合には、国立情報学研究所が提供する **CiNii (サイニイ)** (<http://ci.nii.ac.jp/>) や国立国会図書館作製の **雑誌記事索引** (<http://opac.ndl.go.jp/Process>) などが全分野にわたって収録されていますので、網羅的で利用しやすいデータベースです。

(雑誌情報担当 中田晶子)